



自治体の財政問題が新聞やニュースなどで話題となつていますが、安曇野市の財政事情はどうなっているか、気になるところで
す。全国の自治体で用いられている指標によって、市の財政状況について探ります。

決算状況をまとめる際には、各種の財政指標の算定も行われます。

グラフは、平成20年度を基準として、平成21年度の各指標の変化を表しています。グラフが外側に広がった方が、「財政状況が好転している」と見ることができます。

分析その1
財政指標



安曇野市の財政体力は？

- 1 財政の体力をみる...**
財政力指数
- 2 財政の借金をみる...**
地方債残高
- 3 借金の財政負担をみる...**
実質公債費比率
- 4 人口当たりの職員数**
- 5 行政運営経費をみる...**
人件費・物件費等
- 6 財政のゆとりをみる...**
経常収支比率

1 財政力指数
0.643

財政力指数は、地方公共団体の財政力の強弱を示す指数です。

地方交付税の基準財政収入額、基準財政需要額から計算されますが、「1」未満であれば、その不足部分は地方交付税が交付され、「1」以上であれば、地方交付税は不交付となり、自前の財源だけでいわゆる「標準的行政サービス」を行うことができるというように判定されます。

21年度は、全国的な地方税収の落ち込みにより交付税が増加傾向となり、これに伴い財政力指数は減少となっております。

県内19市の中の順位は9番目でした。なお、19市の平均は0.613であるため、平均以上の財政力を持っていることになりました。

2 地方債残高
人口一人当たり 36万7115円

地方債とは、地方自治体の借金です。

1人当たりの地方債現在高(借金残高)は、952円増加しました。これは主に臨時財政対策債や安曇野赤十字病院建設補助金借入に伴う増額です。今後も市の建設計画に沿って借入を行います。

3 実質公債費比率
14.4%

借入金の返済額(公債費)やこれに準じるものの額の大きさを指標化し財政負担の程度を示すものです。

実質公債費比率は、3カ年の平均で算出され、14.4%となりました。詳細は8ページで解説します。

4 職員数
人口千人当たり 6.89人

人口千人当たりの職員数は6.89人となりました。全国的に公務員を減らす努力が求められています。地方公共団体も定員の削減を行っていかねばなりません。

安曇野市においても、合併による行政管理部门の統合なども相まって職員数の減少が進んでいます。

5 人件費・物件費等
人口一人当たり 10万7962円

人口1人当たりの人件費・物件費等は前年度に比べ1900円余減額しました。職員数の減少により人件費は減額となつていますが、今後も行政改革を進め、より効率的な行政運営を行っていきます。

職員給与などの詳細は18ページをご覧ください。

